

令和6年度 地域おこし協力隊 活動報告

長崎市野母崎地区 加賀江 開

令和6年度、地域おこし協力隊の活動報告を始めます。野母崎地区、加賀江開です。よろしくお願いいたします。



加賀江 開 Kagae Kai

- 1998年生まれ（現在26歳）
- 2023年2月、着任
- 2年目

1998年生まれの現在26歳です。2023年2月、地域おこし協力隊に着任しました。今年で2年目です。

主な活動



観光いも掘り園



有害鳥獣対策



情報発信

主な活動としては、3つあります。観光いも掘り園づくり、有害鳥獣対策、情報発信です。これらは昨年度に始めたことで、今年度も継続し、活動の幅を広げていきました。

主な活動



観光いも掘り園



有害鳥獣対策



情報発信

まずは、観光いも掘り園づくりについてお話しします。観光いも掘り園は、一般の方々がサツマイモを自分の手で掘って収穫する体験ができる農園です。単なる農作業ではなく、レジャーや観光の一環として楽しむことができます。場所は、脇岬海水浴場の向かい側にあります。

なぜつくるのか？

耕作放棄地の有効活用

学びの場

有害鳥獣対策

野母崎を訪れるきっかけ

そもそもなんで観光いも掘り園をつくり始めたのか、なんですけども。「少し前まで、野母崎には観光いも掘り園があったんよ」と教えてもらったことがきっかけで、農業体験のほうに目が行きました。観光いも掘り園を復活させるメリットは、4つあると考えています。耕作放棄地の有効活用、学びの場になる、有害鳥獣対策を学べる、野母崎を訪れるきっかけになる。です。詳しくお話しします。

なぜつくるのか？

耕作放棄地の有効活用

学びの場

有害鳥獣対策

野母崎を訪れるきっかけ

まずは、年々増え続けている耕作放棄地の有効活用についてです。何も手を加えなければ、自然に還っていくところを開拓することで、サツマイモを始めとする野菜が生まれ、それを元にお金を生むことができます。また、耕作放棄地を開拓して、サツマイモ畑にできる。という事例を作ることで、私もやりたいと思う人や、実際に始める人を生むこともできます。

なぜつくるのか？

耕作放棄地の有効活用

学びの場

有害鳥獣対策

野母崎を訪れるきっかけ

次に、学びの場としての活用についてです。自分の手で土を掘り、サツマイモの収穫体験をすることで、普段食べている食材がどのように作られているのかを学べたり、農業の大切さを学ぶことができます。また、土に触れたり、自然の中で作業をしたりすることで、自然への興味や関心を育てるきっかけになります。

なぜつくるのか？

耕作放棄地の有効活用

学びの場

有害鳥獣対策

野母崎を訪れるきっかけ

そして、有害鳥獣対策の勉強にもなります。観光いも掘り園を運営するうえで、有害鳥獣対策は必要不可欠です。その過程で、被害の事態や防護方法、地域との連携の重要性など、多くの知識や経験を得ることができます。また、この学びを観光客や地域の方々と共有することで、さらに大きな価値を生むことが可能です。

なぜつくるのか？

耕作放棄地の有効活用

学びの場

有害鳥獣対策

野母崎を訪れるきっかけ

最後に、野母崎を訪れるきっかけになると考えています。体験型観光の需要が高まる中で、農業や自然を感じられる観光いも掘り園は魅力的です。観光いも掘り園を起点に、観光地や名所、飲食店へ繋がられ、地域活性化にも繋がられます。

昨年度の農園づくり



耕作放棄地
100㎡開拓



さつまいも栽培



イノシシ被害
いも掘り中止

こちらは、昨年度の農園づくりなんですけども。テニスコート半分くらいの広さの耕作放棄地をお借りして、さつまいもを栽培するところまでいけたのですが、いも掘り体験会を開催する直前で、イノシシ被害に遭ってしまい、中止となってしまいました。その体験をもとにリベンジしようということで、

今年度の農園づくり



耕作放棄地
700㎡開拓



体験チケット
30枚販売



イノシシ被害
いも掘り中止

今年度は、昨年度の7倍の広さの耕作放棄地をお借りしました。1人ではどうしてもできない広さだったのですが、多くの方々が協力してくださったおかげで開拓が進み、サツマイモを栽培することができました。サツマイモがしっかりと成長している様子が見られたので、いも掘り体験会を開催できると見込み、ポスターを作成し、早割チケットを販売し、こども園からの団体予約を受け付けたのですが、昨年度同様、開催直前でイノシシ被害に遭ってしまい、中止となってしまいました。その代わりと言ってはなんですが、いも掘り以外にも体験できることを増やそうということで、

ヒヨコふれあい体験



ヒヨコの飼育



ヒヨコふれあい
体験会



卵の収穫体験
捌いて食べる体験

ヒヨコを飼い始めました。ただ飼うのではなく、卵を温めて孵化させるところからSNSで発信し、擬似体験できるようにしました。そして、実際に触ったり、エサをあげたりすることができる、ヒヨコふれあい体験会を2度開催し、こどもからおばあちゃんまで体験してもらいました。ヒヨコについて学べたり、命の大切さについて学ぶことができる貴重な体験を提供することができたと思います。今はニワトリになっている子もいて、卵を産むようになったので、今後、卵の収穫体験やニワトリを捌いて食べる体験なども考えています。

今後について



いも掘り体験
開催



その他野菜の
収穫体験開催



ヤギの飼育
エサやり体験

今後についてです。一番の目標は、イノシシ被害に遭い、2年連続中止となってしまった、いも掘り体験会を開催することです。絶対に開催するために、イノシシから守り切れる数だけ、サツマイモを栽培しようと考えています。残りの畑には、その他様々な野菜を栽培し、サツマイモ収穫の季節以外でも、収穫体験などの体験ができるようにしようと考えています。そして、ヤギを飼おうとも考えています。飼う理由としてあるのが、ヤギだと一年中、ふれあい体験やエサやり体験ができるからです。また、農園周りの耕作放棄地の草を食べてもらい、イノシシが過ごしづらい環境をつくることで、被害を減らせる可能性があるからです。

主な活動



観光いも掘り園



有害鳥獣対策



情報発信

次は、有害鳥獣対策についてお話しします。先ほどの話にもあったように、僕も被害に遭った、イノシシを対象として、対策、捕獲をしています。昨年度は、わな猟免許を取得し、狩猟期間に2頭の捕獲に成功しました。

今年度の有害鳥獣対策



1年中捕獲可能



捕獲隊隊長



計10頭捕獲

今年度からは、有害鳥獣捕獲の区分になったため、1年中イノシシを捕獲することができるようになりました。昨年度から地域の捕獲隊に加入させてもらっていたのですが、今年度からはその捕獲隊の隊長となり、地域の方々と連携を取りながら、イノシシの捕獲活動をしています。また、もう一つの地域では、まだ捕獲隊にはなっていませんが、講師の方からイノシシ対策について学び、技術を上げていっています。その他、車に轢かれたなどの不慮の事故で気絶しているイノシシの命を止めて、回収も行っていました。全て合わせると、10頭のイノシシを捕獲しています。

今後について



捕獲活動を継続



狩猟体験



イノシシ解体体験

今後も引き続き、捕獲活動をしていこうと思います。その中で徐々に捕獲数と技術を上げていき、狩猟体験を開催できるまでいきたいと考えています。また、イノシシの解体体験も開催したいと考えています。

主な活動



観光いも掘り園



有害鳥獣対策



情報発信

次は、情報発信についてお話しします。

情報発信について



Instagram



YouTube

Instagramにて、かいかいジャーニーというアカウントで発信しています。野母崎の景色やイベントの情報、イベントに参加した感想を写真や動画を駆使して投稿しています。また、YouTubeも始めました。今のところは、農園づくりの様子などの動画を月に一回しかアップロードできていませんが、今後は野母崎全体の魅力を感じられるような動画も頻繁にアップロードしていこうと考えています。

その他の活動について



公民館まつり



たこ祭り



祇園祭



伊勢エビまつり

その他の活動としては、公民館まつりやたこ祭り、祇園祭、伊勢エビまつりなどの魅力的なイベントの支援やカメラマンとして写真を撮ったり、長崎南部最大級のお祭り「ナナフェス」のCMを制作しました。

以上で、令和6年度、地域おこし協力隊の活動報告を終わります。ありがとうございました。

その他の活動について



七歌祭のCM制作

その他の活動としては、公民館まつりやたこ祭り、祇園祭、伊勢エビまつりなどの魅力的なイベントの支援やカメラマンとして写真を撮ったり、長崎南部最大級のお祭り「ナナフェス」のCMを制作しました。

以上で、令和6年度、地域おこし協力隊の活動報告を終わります。ありがとうございました。